

2013年10月15日

ロシア関連メモ 096

国際公共政策研究センター
主任研究員 石野 務

プーチン大統領 年次教書演説 (2013. 12. 12)



ロシアメモの執筆を再開する。手始めに、古くなるが、昨年12月の大統領年次演説について報告する。

1. 大統領年次教書演説について

大統領教書は、憲法にも規定される国家の施策を現す基本文書であり、その内容に関して大統領年次教書演説が行われる。今回紹介するのは昨年の12月12日のロシア憲法記念日当日に行われた演説である。今年も年末にかけて今年度の演説が行われる見込みであり、その際には、本件との比較も行いながら、別途報告することと致したい。

2. プーチン演説概要

プーチン大統領は、大統領選挙前に公表した政策構想に関するレポートや、2012年5月に署名した大統領令において具体的な短期中期的な政策を示している。今回の年次教書演説では、政策の内容よりも、これらの政策の基となる考え方を説明している。

まず、21世紀において、ロシアは、新たな経済的、文明的、軍事的なバランスを求め、影響力のある国家にならないと訴えている。国際的に地域間、民族間の対立が増加しているという認識を示したうえで視点を国内に向け、国民の愛国心や倫理感の強化、伝統的な価値観の共有などによりロシア国家の結束を高めることを強調している。多民族国家として発達してきたロシアが、民族主義の台頭によって分裂することが無いように国の歴史の再評価や、教育の強化を行うことの重要性を述べているが、一方で分離主義

や国粹主義についての示威行動については、強い警戒を示している。

人口動態については、出生率が死亡率を上回り人口増加が 5 か月連続で確認されたことや、過去 4 年間にロシアの平均寿命が約 2.5 歳伸び 70 歳を上回ったことを明らかにし、過去の政策が効果をあげていることを示している。今後もこの傾向を継続させるために、医療施設の改善、若年層の運動の奨励、子供が生まれた家庭への資金的な援助などの政策を推進することを述べている。

経済に関しては、一次産品に依存した経済モデルからの脱却や、他国に金融や商品を依存している体質からの脱却することの重要性を強調し、競争力の向上や産業の近代化についても触れている。ビジネスを行いやすい環境を整えることにより、起業家が活躍することにも期待している。一方、ロシアの発展の方向は東方の開発にあると位置付け、シベリアや極東地域の潜在力を評価し、国家福祉基金に積みあがった資金の一部をインフラ整備に用いることを提言している。また、税負担を消費品から不動産を含む高価品の消費にシフトし、投資や開発を刺激することが不可欠であると強調している。

政治的な腐敗に対する対策として、公務員や国営企業の役員などの外国の財産保有の禁止や、収入や資産の監視、入札制度の見直し、国民による監視など多数の施作を示しその重要性を強調している。

外交政策については、関税同盟や共同経済圏など既に稼働している制度やユーラシア経済共同体を例に、親密な隣国とより密接な統合を行うことを述べている。

医者、大学教授などの知識階級の処遇の見直しや、軍人や退役軍人の処遇や年金の見直し、現在すべて比例代表制度で行われている国会議員選挙を比例代表制度と小選挙区制度の並立とすることなどが述べられているが、ここには、これらの施策の受益者から信頼を得て、今後増加が見込まれる中間層からの与党勢力への批判に対抗するための基盤を作ろうという意図が現れているものと思われた。

3. 演説の主項目

1. ロシアの進むべき方向性について

- ・ 国際的な発達益は益々不均衡になっている。これは新たな経済的、地政学的、倫理的対立を生み出す基となり、資源に対する競争はより厳しいものとなる。
- ・ 新たな革新的な技術の開発者に対して安全な居場所を与えられない国は、ただ依存するしかなくなり、実業界や市民の利益となる世界的な「パイ」の分け前は、主導する国よりずっと少なくなる。
- ・ 経済や、文化、軍事力の新たな均衡が見込まれる 21 世紀において、ロシアは、自立した影響力を持った国にならなければならない。ロシアは、その信頼性を発展させるだけでなく、その国家的、精神的な独自性や、国家としての結束を保持しなければならない。国民の義務や愛国心が、ロシア政治を支える総合的な力であると理解している。

2. 福祉について

- ・ ロシアの近代の歴史において初めて、国民人口の増加が 5 か月間連続で確認された。出生率が死亡率を上回り、過去 4 年間にロシアの平均余命年数は約 2.5 歳延び、70 歳を上回った。公共の医療施設の開発と共に予防的ケアにも注意が払われるべきである。
- ・ 極めて重要な分野は、特に若年層におけるスポーツや運動の発展である。学生向けのスポーツクラブの協会を設立する発想を支持することは非常に大切である。
- ・ 2 人目の子供が生まれた家庭に対して資金を与える政策を導入したが、これはうまく実施されており、2016 年まで継続される。2013 年からは、ロシアの平均値よりも人口動態の数値が低い地域において、3 人目以上の子供に対する追加的な給付金の支払いを行う予定である。私は、3 人の子供を有する過程がロシアの標準となると思っている。
- ・ ロシアにとって長年の課題であった「住宅」問題を、これからの 10 年間で根本的に解決する特別な機会があると信じている。国家住宅プロジェクトの第一段階において、住宅ローンをうまく普及させることができた。過去 2 年間に、住宅ローンは、毎年 40 ~50%増加した。今、第 2 段階において、若い家庭や、医者、教師、科学者、技術者などの社会的な職業に就いている者などより広い範囲の住宅問題を解決していく必要がある。一方、2013 年から 2014 年の間に、現役の軍人や退役軍人に対する住居の供給や、適切でない住居からの住民を移住についての義務をすべて果たす予定である。

3. 雇用、職業育成などについて

- ・ ロシアは、2020 年までに 25 百万の近代的な職を創造するという計画を打ち立てた。
- ・ 閣僚に対して、今後 2 年間の間に、職業訓練の質を向上させる国家的なシステムを構築し実施するよう指示した。
- ・ これまで給与水準が低く抑えられていた、医者、教師、大学教授、科学や芸術分野の職業の全ての分野における賃金引き上げを行う。賃金の向上が教育や、医療、科学の分野に、トップレベルの卒業生たちをひきつけることを確信している。

4. モラルの向上などについて

- ・ 軍のモラルは、伝統や、歴史へのつながり、私たちの英雄の勇敢さや自己犠牲の見本によって支えられている。
- ・ 禁制や制約を行うのではなく、代わりに社会に確固とした精神的、道徳的な基盤を確立すべきである。これらの領域は、道徳や、円満な人格や、責任あるロシア国民を生み出す環境である。
- ・ 伝統的なものや数学教育のような優れたものは維持しなければならない。ロシア語や、歴史、文学、安全な倫理、伝統的な信仰などにおける質の高い教育の重要性もおざなりにできない。これらの教科は、人格や個性を形成するという特別な役割を持っている。

- ・ 国民意識を取り戻すために、歴史をつなぎ合わせ、ロシアが 1917 年に始まったのでも、1991 年に始まったのでもなく、千年余りの長期間に亘って共通の連続した歴史を有しているという単純な真実を理解する必要がある。
- ・ ロシアは、当初から、何世紀にも亘り多民族の文明国家として発展し、ロシア国民、ロシア語、ロシアに生来のロシア文化によって結び付けられ、多様な世界においても分裂を免れてきた。多民族性に関係なく、ロシア国民は、未来永劫に一つの国民としてあり続ける。
- ・ ロシアは、全ての民族や、全ての連邦国を、高い敬意と気遣いを持って取り扱ってきたし、これからもそれを続ける。ロシア国民の多様性は、私たちの強さや長所の源泉であり、今後もそうあり続ける。
- ・ いかなる国粋主義も愛国主義も、愛国主義者が守ると見せかけている利益を有する国民や民族グループに対して直接的で甚大な損害をもたらすことを忘れるべきではない。様々な主張や信条の国粋主義者や愛国主義者によって行われる「単純で明快な」方法である全てのデモ行動には、ロシアにとって重大な危険性がある。ロシアの統一性や、保全性、独立性は、無条件である。分離主義や国粋主義についての示威行動は、いかなるものであっても政策的な議題から完全に除外されるべきである。

5. 政治への参加について

- ・ 民主主義は、ロシアの唯一の政治的選択である。世界中で採用されている普遍的な民主主義の原則を、ロシアも共有すべきことを強調する。
- ・ 民主主義は、選挙に参加する機会だけではなく、国家権力を監視し、国家の仕事の結果を評価する事にある。
- ・ 多くの政党や専門家は、小選挙区制度が並立して行われる並立方式の国会議員選挙に戻ることを提案しているが、私はそれに賛成する。

6. 腐敗への対応について

- ・ 政府の非効率性と、腐敗は、だれもが理解している主要な課題である。海外の口座や、証券や、株式を保有することについて、公務員や政治家の権利を制限する法律に関する立案への賛成が必要である。
- ・ ビジネスは、どのようなレベルでも、政府の行政、立法、司法組織に対する接近に基づいた特典を享受することは許されない。
- ・ 公務員や、公共企業の役員や、その身近な親族の消費や金額の大きな買い物についても監視することとする。会計検査院は、非法規的な増富の結果として得られた資産の没収を裁判所に申し立てる権利を保有している。また、政府の予算によって資金を付けられた機関の幹部に対する報酬は、その機関の業績やその労働者の平均給与を参考にして決められるべきである。

7. 経済の活性化について

- ・ ロシアの国家予算や社会分野が、他国の資金や商品のマーケットに人質を取られていると言う、現在の状況に満足することはできない。バランスの取れていない原材料経済には、単に外部の衝撃に対して脆弱なだけでなく、人材の潜在能力を適切に用い、発展させることができないという問題がある
- ・ ロシアの発展には今後の10年間に亘り少なくとも毎年5~6%のGDPの増加が必要であるが、原材料経済モデルの能力は消耗しきっている。
- ・ 経済構造の根本的な変革や、伝統的な産業分野における新たな産業の導入やリーダーシップの回復、中小企業のビジネスの発展などが主な目標となる。国家経済主義よりも、経済的自由や、私的財産、競争、近代の市場経済が、新しい成長モデルの中心になる。
- ・ ビジネスの愛国心を作るための最善の方法とは、私有財産の保護や契約順守について効果的な保証を行うことや、ロシアの司法権を魅力的なものにすることである。
- ・ 専門家の評価に拠れば、ロシアがビジネス環境の良い20の国家にランクインすることは、GDPを少なくとも2.5%増加させ、天然資源産業を中心に、中小企業においてさらなる成長をもたらす。
- ・ 国の準備金は、国のために国内で用いられなければならないが、国家福祉基金は、国の発展のためには殆ど用いられていない。すでに、準備基金が国のGDPの7%を超えた際には、その余剰の半分を、ロシア経済、特にインフラ事業に用いることができるという取り決めがある。2012年度の終わりには、準備基金や国家福祉基金は、国のGDPの9%を超える予定であり、2013年の最初に、関係するマネジメント組織を設立した後に、国家福祉基金の一部、約1,000億ルーブル(約33億ドル)が、ロシアの防衛やインフラ事業の実施に使われることとなる。
- ・ 経済政策の中心部分は、ローン利用可能性や税法上の優遇から、簡素な行政手続きや低いインフレ率に到るまで、ロシアでビジネスを行う面での全ての基本的な競争力にある。これは、経済の復活や、一次産品への依存から脱却することに直接つながる方法である。
- ・ 世界中で、特に新興諸国で食料に対する需要が急増している。ロシアは、世界の耕作可能地の半分以上、55%を保有している。今後4~5年間において、ロシアは全てのタイプの食料の生産における独立性を確保する必要がある。そして、ロシアは世界最大の食糧生産国となるであろう。これは、ロシアに新たな大きな可能性を開くこととなる。
- ・ ロシアは、軍需産業の質を高め科学や技術を発展させるために、軍事調達や軍需産業の近代化のためにかつてないほどの資金を費やすことを計画している。

8. 税システムの見直しについて

- ・ ロシアは、投資や開発奨励し、税負担を、物品や高価な不動産を含む消費に移行させていかなければならない。
- ・ ロシアは、いわゆるフラットな税を維持しなければならない。一見、累進課税は社会の公平性を推進するように見えるが、実際にはそうではない。
- ・ 奢侈税に関する取り決めに 2013 年前半から実施しなければならない。この税は、奢侈品や、どんなに厳しいと思われようとも、全ての高価な自動車や、新車に対して課せられる。

9. 国土開発について

- ・ ロシアの発展の方向性は、東方の開発にある。シベリアや極東地域は、ロシアの莫大な潜在力を象徴している。ロシアは、世界で最も活力に満ちた地域であるアジア太平洋地域に、資源に富んだ地域を保有しているという機会に恵まれている。
- ・ ロシアは、道路建設における現状打破が必要であり、今後 10 年間に道路建設の速度を少なくとも倍にはしなければならない。
- ・ ロシアの重要な開発における優先事項は、地方空港や、海港、北極海路、バイカル・アムール海路、トランス・シベリア鉄道、その他の交通路である。交通の完全な連結性によって、ロシアのすべての領土を確保しなければならない。

10. 外交政策について

- ・ 北アメリカや南アメリカ、欧州、アジアで統合への関心が生じていることは自然なことであり、これらのプロセスが勢いを増している。ロシアも近隣諸国と共に、すべての利点を活用すべきである。
- ・ 身近な統合については、すでに効率的に機能している関税同盟や、ロシアとベラルーシー、カザフスタンの共通経済圏によって実証されている。ロシアは、ユーラシア経済同盟の設立を開始しており、当然ながら、これを継続し、その目的を遂行していく。

4. 仮訳：「大統領年次教書演説」

大統領選挙のキャンペーン中に執筆した論文や、今年の5月に署名した大統領令の中で、私は、私たちの姿勢や、短期中期の計画を示しました。それらは、経済、社会生活、国内政策、国際関係、安全保障など我々の活動や国民生活の全ての分野をカバーするものであります。これらの書類は、時には特定の数値や期限を示しながら、私たちの計画の詳細を示しています。例えば教師やその他の職業の賃金の引き上げなど、それらの内いくつかはすでに実施されています。私たちは、私たちの検討すべき課題をすべて考慮しながら、必要とされる規制の枠組みを計画しました。その仕事が始まりました。私はすべての国民にこれが継続させることを保証します。私たちは、私たちが始めたすべての仕事を失敗すること無く遂行します。この目的のために組織された委員会はそれを監視します。

“多くのことが今世紀の当初の12年間に成し遂げられました。国家の立て直しや強化は、非常に重要なことでありましたが、終了しました。現在の私たちの役割は、豊かで繁栄するロシアを築くことです。”

今日、大統領選挙後最初の連邦会議において、これらの計画の詳細についての話はしません。後で2、3の点について触れはしますが、実質的な調整について話すには早すぎます。

私は、私たちの進展や論点を強調します。これらはロシアの現在ばかりでなく、中長期的な将来においても、私達一人一人にとって本質的なことであります。

新たな世紀の最初の12年間に、多くのことが成し遂げられました。国家の再建と強化の段階は非常に重要なものでありましたが、完了しました。私たちの現在の使命は、豊かで繁栄したロシアを築き上げることです。私は、全ての国民が、今後の数年間が私達のみならず全世界にとって、決定的で画期的な年となることを理解して頂きたいのです。それは、大規模な変革や衝撃の時代の幕開けなのです。

国際的な発達は益々不均衡になっています。これは新たな経済的、地政学的、倫理的対立を生み出す基となります。資源に対する競争はより厳しいものとなります。私は、この競争は、金属や石油、天然ガスといった天然資源に限定されるものではなく、人的資源や知能にも及ぶことを強調いたします。主導権を握る者になるのか、あるいは、部外者となって独立性を失うのかは、経済的な可能性ばかりでなく、各国の意思や、一人一人の国民の熱意、即ち前進や改革に対する能力にも依存するようになるのです。

発展した経済や、発展中の経済を有する国の国民は、継続した消費の増加や、生活や文

化の成長に慣れていますが。これは良いことですが、現代社会においてそのような成長を継続することは、新たなテクノロジーの導入によってのみ可能なことであり、それが世界の多くの場所で大きな障害となっているのです。新たな革新的な技術の開発者に対して安全な居場所を与えられない国は、ただ依存するしかなくなり、実業界や市民の利益となる世界的な「パイ」の分け前は、主導者よりずっと少なくなります。今日、知的な製品を製造する国と、最終製品を消費する国の間の収入の差を見てください。その割合は、75～80%と15%です。

経済や、文化、軍事力の新たな均衡が見込まれる21世紀において、ロシアは、自立した影響力を持った国にならなければなりません。私たちは、その信頼性を発展させるだけでなく、その国家的、精神的な独自性や、国家としての結束を保持しなければなりません。私たちは、ロシア国民として存在しなければならないのです。

70年間のソビエト時代の後、ロシア国民は、個人の関心がまず生活を取り戻すことにあった時代を経験してきました。それは必要で自然な過程でした。しかし、個人の関心のために働くことには限界があります。もしも、混乱や無秩序や不安定な状態があなただけの家の壁の向こうにあるとしたら、繁栄はあり得ません。私たちは、他人に対する配慮や、弱者に対する援助、家族や職場に対する義務を果たすことなしに生きることはできません。今日ではますます多くの国民がこれを理解するようになっていきます。これが国民の誓約につながるのです。人々は自分の生活や仕事を、他の者への思いやりや、祖国全体の願望や州の関心と結びつけることを始めています。

本日、12月12日は、憲法記念日です。私は、私たちの国家の基本法に根差している価値について少し話をします。現在や将来の世代に対する、我が国の国家的な義務は、憲法によって、ロシア連邦の根本的原理とされています。国民の義務や愛国心が、ロシア政治を支える総合的な力であると私は理解しています。

“現在や未来の世代に対する我が国の国家的な義務は、憲法にも国家の根本的な基本原理として規定されています。それは、国民の義務や愛国心であり、私たちの政策の背景にある統合的な力です。”

愛国者であることは、国家の歴史を愛と敬意をもって取り扱うことだけを意味するものではありません。もちろん、それも大切ですが、国家や社会のために働くことがより重要なことです。ソルジェニーツィンが述べたように、愛国主義とは人に内在する自然な感覚なのです。社会は市民の義務なしでは存在しえないように、国家も、特に連邦国家においては、国全体にわたる義務なしでは存在できません。注目に値する言葉であり、痛感させら

れます。

国家に対する義務の感覚は、標語や懇願では教え込むことができません。人々は、公共機関が解りやすく、近寄りやすく、国や町や村や国民一人一人の利益のために良く働き、国民の声を聴くものであることを確認しなければなりません。官庁は、隔離された階級であるべきではありません。想像力に富んだ仕事や、秩序、自由、倫理、市民の連帯、正義、真実、国民的な認識の肯定のための強力な道義的な基盤を築くためには、これが必要なのです。

21世紀のロシアの主権は何によって保証されるのでしょうか？ 今日、私たちはこれについてよく議論します。最初に、国は十分な資源を保有する必要があります。これは、私たちが全ての物を国内で生産するということを意味するものではありません。もはやそのような生き方をする国はありませんし、これからもそうでしょう。ロシアは、その地政学的な関連性を維持するだけでなく、それを増幅し、近隣諸国や同盟国の需要を喚起すべきです。私は、これがわが国の為にもなることを強調します。これは、私たちの経済、文化、科学、教育、外交、特に国際的なレベルで集団行動を動員する能力などに影響するのです。また、大事なことを言い忘れてましたが、ロシアの安全保障と独立性を保証する軍隊にも少なからぬ影響を与えます。

国際社会における紛争の動きに対抗するために、国家は迅速な行動をとらなければなりません。私たちは将来を見据えて未来に重点的に取り組まなければなりません。

皆さん、20世紀にロシアは、2つの世界大戦と1つの内戦、そして、2回の統一国家の崩壊を経験しました。私たちの国では、何度も生活の全てが急激に変わりました。その結果として、21世紀の初めに、私は民主主義と倫理の混乱や危機に直面しました。もしも国家が自身を保全し足り、復活させることができなかつたとしたら、また、活力のある基準や概念を失ってしまったら、外部の敵がいなくても、それ自身で分解してしまいます。

“私たちの国の近代の歴史において初めて、国民人口の増加が5か月間連続で確認されました。出生率が死亡率を上回りました。過去4年間にロシアの平均余命年数は約2.5歳延び、70歳を上回りました。”

私は、これについて何度も話してきましたが、改めて強調させていただきます。ロシアが主権を保持する強い国であるためには、私たちは、もっと倫理、競争力、創造の努力を強めなければなりません。今日、ロシアにおける20～40代の労働人口の比率は、新興諸国の中でも最も高い水準です。しかし、ほんの20年間の内にこの年代は半分に減ってしまうかも

しれません。何も行われなければ、この傾向は続きます。若い世代が、自分自身の仕事を創造したり、家を買ひ、協力によって大きな家庭を築き、子供を育て、祖国で幸福に過ごすことができるように、良い有益な仕事を確保できるように、私たちは、今、生涯にわたる将来展望を用意してあげなければなりません。さもなければ、ほんの何十年かの後に、ロシアは貧しく、希望のない年寄りの国になり、その独立性や領土までも保持できなくなるでしょう。

過去の10年間に実施された人口動態政策は、それなりの有効性を示しています。国の人口は安定するばかりか少し増加し始めています。2012年の1月から9月までの間に約20万人増加しました。私たちの最近の歴史の中では初めて、国民の人口増加が5か月にわたって続けて確認されました。出生率が死亡率を上回ったのです。

過去の4年間に、ロシアの平均余命年数が、2.5歳も増え、70歳を超えました。一方、死亡率については、特に中年層では依然高いままです。私たちは健康的な生活に対するあからさまに無責任な態度と戦わなければなりません。公共の医療施設の開発と共に、予防的ケアにも注意が払われるべきです。もちろん、これは医療施設の改善や、その利用しやすさを増強することを軽視することではありません。また、努力は医療だけに限られたことではないのです。政府は、過酷な条件下での労働を置き換える政策や道路の安全性を高める政策を行うべきです。喫煙や、アルコール、薬の乱用は、毎年私たちの国で何千、何万人もの早死の原因となっています。

極めて重要な分野は、特に若年層におけるスポーツや運動の発展です。私たちが大きな国際的なスポーツ大会を招集している理由は、国民に運動を奨励し、スポーツや運動の需要や評判を上げるためです。しかし、これらのスポーツや運動、大衆スポーツの促進という仕事は、国際的なスポーツイベントや、学校や大学の体育事業の時間を増やすだけでは達成できません。私たちには新たな方法が必要です。スポーツだけでなくフィットネスのようなものも含めた幅広い活動が必要です。幼年期に生涯の習慣や興味が形成されることから、特に子供たちに必要であり、私たちはそのために努力しなければなりません。

学生向けのスポーツクラブの協会を設立する発想を支持することは非常に大切です。そのような組織は、大学のスポーツの発展に貢献するばかりでなく、才能のある活動的な若者に対して社会的な支援を行うことを可能とします。私はそのような組織が、政治を超えて存在し、若者を広い多種の政治的な観点からまとめていくことが大切だと考えています。

“私たちは、今後の10年間に、ロシアのもう一つの永年の課題であった「住宅問題」を根本的に解決する独自の機会に恵まれています。私は、これはロシア政府とロシア連邦諸

国の首長の両者にとって、最も重要な課題と考えています。”

私たちは 2 人目の子供が生まれた家庭に対して資金を与える政策を導入しました。これはうまく実施されており、2016 年まで継続されます。私たちはこの政策の下に私たちの全ての義務を果たします。

私は、もう一度この政策が 2016 年まで継続されることを強調します。これは、2016 年までに 2 人目の子供が生まれた家庭は、出産手当やその他の法で定められた資金を受け取ることができるということです。私は、女性に 2 人目の子供を産むことを奨励していません。女性は、何をいつ行いたいのかについて分かっています。しかし、これを国民に知らせることは、2016 年以降にこの政策をどうするのか決めなければならないと同様、私たちの義務であります。2013 年から、私たちは、我が国の平均値よりも人口動態の数値が低い地域において、3 人目以上の子供に対する追加的な給付金の支払いを行う予定です。ロシア連邦には、そのような地域が 50 か所あり、特に、中央地域、北西地域、ボルガ市域、及び極東地域に集中しています。

さらに、私は、全てのロシアの地方政府の首長に対して、地域的な独自の人口動態政策を制定し実施することを認識して頂きたいのです。人口統計学者は、2 人目の子供を持つとする決心は、3 人目に子供についての潜在的な決心となりうると言っています。より多くの家庭がこの決心を行うようになることが重要です。これに対して疑いを有する専門家もいますが、私は、3 人の子供を有する過程がロシアの標準となると思っています。しかし、これを実現するためには、多くのことが成し遂げられなければなりません。

最初に、2 人あるいはそれ以上の子供を持つことが、キャリアの可能性や、良い仕事を見つける機会を制限し、専業主婦にならざるを得なくなるという恐れを女性に与えないように、私たちは、女性にとって好ましい環境を創造しなければなりません。保育所に対する待機者を無くしたり、子供を有する女性に対する職業訓練のプログラムを導入したり、柔軟性のある雇用形態のための補助を提供したりすることに対する私たちの努力が、個々の家庭の 2 人や 3 人の子供を持つとする決心に直接的に影響を与えるのです。

“私たちは 2020 年までに、25 百万の近代的な仕事を創造するという目標を設定しました。質の高い仕事は、賃金の増加や、生活水準の向上のための原動力になります。これは、私たちの仕事の最も重要な側面です。”

民間の幼稚園に対する援助を含めた特別な配慮が、修学前教育に対して必要です。政府は、すでにこれに対するいくつかの障壁を取り除いています。2013 年の前半に、これにつ

いての仕事を仕上げてくださいたいのです。そして、地方政府には与えられた機会を積極的に利用して頂きたいと思います。私たちは、国民が、小規模の家庭をベースとした保育所や、全日の児童保育を普通に開設し、両親たちが待機しないで託児を行えるようにしなければなりません。

私は、ロシアにとって長年の課題であった「住宅」問題を、これからの10年間で根本的に解決する特別な機会があると信じています。私は、これは中央政府と地方政府の首長の両者にとって、最も重要な課題であると思っています。国家住宅プロジェクトの第一段階において、私たちは住宅ローンをうまく普及させることができました。過去2年間に、住宅ローンは、毎年40~50%増加しました。これは好ましい数値ですが、正直に言えば、住宅ローンは平均以上の賃金水準の人の利益になることであり、その他の人はその恩恵にあずかることができません。従いまして、今、第2段階において、若い家庭や、医者、教師、科学者、技術者などの社会的な職業に就いている者などより広い範囲の住宅問題を解決していく必要があります。より低価格の住宅の供給を増やす施策を、賃貸住宅の供給の増加施策と共に行う必要があります。すでに、ある地域では、様々な形の賃貸市場に対する補助のケーススタディとなりうるパイロットプロジェクトを実施しています。

私たちはまた、2013年から2014年の間に、現役の軍人や退役軍人に対する住居の供給や、適切でない住居からの住民を移住についての義務をすべて果たす予定です。2012年の1月の時点で、住居の状況が劣悪なためにより良い住居環境が必要と認識された国民は、今後数年間の間に新たな宿舎に移されます。

私たちは、2020年までに25百万の近代的な職を創造するという計画を打ち立てました。これはとても野心的で困難な挑戦ですが、可能なことです。私たちは国民が良い関心の持てる仕事を探すことを支えます。質の高い仕事は賃金や生活水準の向上に役立ちます。子らは、私たちの仕事にとって最も重要なことです。私たちは専門学校や、職業訓練を活性化させる必要があります。何にもまして、私たちは勤労者にもっと気を配らなければなりません。

“学校は、その絶対的な価値を取り戻すべきです。これは、教育の中身の更新を意味しますが、一方で、伝統的なものや数学教育のような優れたものは維持しなければなりません。生徒が有能で熱心な教師に出合えるかどうかは、生徒の人格や将来を決定します。教育システムは、力のある才能豊かな教師によって支えられなければなりません。”

私は、閣僚に対して、今後2年間の間に、職業訓練の質を向上させる国家的なシステムを構築し、実施するよう指示しました。

私は、社会分野についても話をいたします。この分野に従事している専門家は、公共機関の職員です。これらの人々は、教育水準が高く、教養があり、その仕事の文化面や社会的な貢献から、いわゆる創造的階級に位置付けられます。この創造的階級は、昔の言い方をすればインテリ階級であり、医者、教師、大学教授、科学や芸術分野で働く者から成りますが、どの地方、町、村にも存在しています。一方、彼らの収入はまだ中流クラスを超えた位であり、適切な休養や快適な生活水準を楽しむことはできません。そして、常に追加の収入源を探さなければなりません。

何年にもわたって、単にどうしようもないという理由で、これらの専門家たちに対して、低い賃金が支払われてきました。高齢者たちが貧困以下の水準の生活環境にあり、年金の水準を上げるなど、他のより差し迫った問題を解決する必要があったためにそうせざるを得なかったのですが。

今日、私たちは社会分野において、徹底的に状況を変えることができます。私は、大統領選挙前の論文や、大統領令によって私の考えを示しました。5月に私が署名した大統領令では、今述べた職業の全ての分野における賃金引き上げの水準を示しています。私は、連邦政府や地方政府の首長に対して、この目標の実現のためにあらゆる資源を用いることを要求しています。それは、これが大統領選挙前からの約束であるだけでなく、(もちろんこれも重要なことですが) 私たちは、約束したことを実行しなければならないからです。また、もっと重要なことは、この目標を実現することにより、いくつかの重要な問題を一気に解決できるからなのです。

第1に、新たな才能のある専門家が、医療や教育の分野に出現することによって、この分野の目覚ましい発展が見込まれることです。同時に、この分野の既存の従業者が自分自身の仕事に集中し、自身の養成を向上させ、残業やサイドジョブを行わなくて済むようになります。今日、国民に不快感を与えまた傷つけている日常的な汚職や、義務に対する無関心などの問題が、これによって撲滅されることを私たちは望んでいます。

第2に、中流階級として区分される国民の人数が急激に増加し、4分の1にもものぼっています。特に、この創造的階級の分野で顕著です。かつてロシアの専門家やモラルの基幹であった地方の知識階級の再生を、私たちは支持していきます。

第3に、医療従事者、教育者、科学者、文化的職業者の職業的な団体は、発展のための新たな勢いを得ています。これらの団体は、有能で活発な市民社会の中核となっていきます。社会にとって、科学や社会分野の現状に客観的にアクセスする機会を有することは重

要なことです。

私は大統領府と共に、閣僚に対して、来年の 4 月までに、医療や教育、科学の実績、文化的な機関のニーズについて、公共モニタリングが行えるようなシステムについての構想を作成するよう要求しました。最も重要なことは、私たちがこれに関する仕事に対して専門家の関心を募り、世界的な好事例を観察することです。

“私たちは、技術的、芸術的な創造性を普及させ、夏季のスポーツキャンプを設立したり、子供たちのための特別な教育課程を創立しなければなりません。これらは、子供の住んでいる場所や家庭の収入に関係なく、全ての子供たちに利用できるものでなければなりません。”

それぞれの従事者の質や、実際の訓練内容を考慮せずに、職業育成プログラムを、単に人々の賃金の向上のためのものであると認識することは間違いです。医療、教育、科学の個々の機構が、改善や人の再生のために、独自のプログラムを創造する必要があります。

私たちは皆、(誰もこれに反対するとは思いませんが) 様々な分野の改革の必要性について話します。しかし、改革が始まるや否や、人々の非難を耳にします。「これはそのままにしておくべきだ。」「これには触れない方が良い。」などの非難です。私たちはこれを避け、排除しなければなりません。私たちは、どのようなニーズが行われなければならないかを理解したら、それを行わなければなりません。しかし、同時に、賢く行わなければなりません。これについて、私は、これは、常に専門家との対話の中で行われなければならないという意見に賛成です。私たちは常に私たちの政策を説明する必要があります。私はまた、メディアの経営者や主導的なジャーナリストに対し、この分野に起きている変化に特に注意を払うように呼びかけています。これは特に国家的に重要な課題です。

私は、賃金の向上が教育や、医療、科学の分野に、トップレベルの卒業生たちをひきつけることを確信しています。実際に、私たちはその始まりを実感しています。過去 3 年間に、医科大学の受験生は、最終高校テストにおいて、経済系や法律系を差し置いてトップの成績を修めています。今年、技術系職業への就職希望者において、知識レベルの際立った改善が認められました。才能を有し、高等教育機関を卒業した後に大学院に入学するものの数も急増しています。

皆さん、今日、私たちの町や村で、過去 15~20 年間に、国家や社会、学校、報道、私たちの意識に起こったことの結果を見ることができます。これは理解できます。その間に、私たちはすべてのイデオロギーのスローガン捨て去ったのです。しかし、残念なこ

とに、多くの倫理的な基準も失われてしまいました。私たちは、赤ん坊を産湯に漬けることをやめてしまったのです。今日、これが国民の、公務に対する無関心や、汚職や厚かましい拝金主義の許容、過激主義や攻撃的な行動などに表れてきているのです。

そしてこれらすべてが、時に、醜く過激で挑発的な姿となって現れます。私は、これが、社会や、安全やロシアの整合性に対してまでも、長期間の脅威を生み出すと考えます。

これを話すことは苦痛ですが、言わなければなりません。今日、ロシアの社会は、明らかに、思いやりや、同情、慈悲、補助や助け合いなどの精神的な価値が欠如しています。私たちの長い歴史において常に私たちを強化し、常に私たちが誇りとしてきたものが不足しているのです。

“私たちの軍のモラルは、伝統や、歴史へのつながり、私たちの英雄の勇敢さや自己犠牲の見本によって支えられています。”

私たちは、諸手を挙げて伝統的価値の伝承者である組織を支えるべきです。それが、世代から世代へ、これらの価値を伝えてきたのです。

法律が道徳を保護することができ、またそうすべきですが、法律は、道徳を植え付けることはできません。

国民の心情や考え方を侵害しようとする政府の試みは、全体主義の現れです。これは、私たちには絶対に受け入れることのできないことであり、私たちは同じ轍を踏むことはありません。私たちは、禁制や制約を行うのではなく、代わりに私たちの社会に確固とした精神的、道徳的な基盤を確立すべきです。これこそが、一般の教育や文化や若者に対する政策が重要である理由です。これらの領域は、単にサービスを集めるというものではなく、むしろ道徳や、円満な人格や、責任あるロシア国民を生み出す環境であります。

皆さん、私たちは、子供や青年の形成に及ぼす学校教育の影響が近年弱まっていることを認識すべきです。学校教育には、現在、インターネットや電子メディアのような強力な競争相手がいます。親や生徒はより要求的になっていますが、学校は、生徒や社会の発展や情報の流入に後れを取ってはならず、むしろ先を行かなければなりません。これは、教育の中身の更新を意味しますが、一方で、伝統的なものや数学教育のような優れたものは維持しなければなりません。ロシア語や、歴史、文学、安全な倫理、伝統的な信仰などにおける質の高い教育の重要性もおさなりにできません。これらの教科は、人格や個性を形成するという特別な役割を持っています。

生徒が有能で熱心な教師に出合えるかどうかは、生徒の人格や将来を決定づけます。教

育システムは、力のある才能豊かな教師によって支えられなければなりません。そのような教師は、綿密に選ばれ、良く支えられなければなりません。学校は単に知識を詰め込むところではありません。優れた教育方法なしに質の高い学校教育を行うことはできません。私は、内閣府に、学校教育の総合的な発展のためのプログラムを用意するように要求しました。それは近代的なものでなければなりません。私たちは、夏季のスポーツキャンプを設立したり、子供たちのための特別な教育課程を創立し、技術的、芸術的な創造性を普及させなければなりません。これらは、子供がどこにしようがその家庭がどのような収入を得ているかに関係なく、全ての子供たちに開かれたものでなければなりません。これは、ロシア連邦の各政府の直接的な責任の下にあります。ロシア政府もこの件に関しては管轄します。

“何世紀にも亘って、ロシアは多民族国家として発展してきました。ロシア国民、ロシア語、ロシア古来の文化によって文明国家として統一され、多様な世界においても分裂することがありませんでした。私たちは、全ての民族や、全ての連邦国を、高い敬意と気遣いを持って取り扱ってきましたし、これからもそれを続けます。私たちの多様性は、私たちの強さや長所の源泉であり、今後もそうあり続けます。”

私たちは、ロシアの文化に導かれます。ロシアは自国の文化的な課題を生み出すばかりでなく、全世界的な文明化に影響を与えてきました。この分野における国家の政策は、現在の社会的な問題を解決することを目的としなければなりません。私たちは、現代社会の要求、特に若者の要求を理解してこれに応え、ロシア国民の伝統を強化しなければなりません。

創造的な分野や、仕事や、スポーツや慈善活動において際立った業績を挙げた国民は、社会に認められ、国からサポートされるべきです。

今日、ロシアには個人的に公共の慈善事業のために働く人が大勢います。橋を創造しようとする動きがよみがえりました。私は、そのようなボランティア的な活動をサポートすることが重要だと思います。近々、私たちはボランティア機関のメンバーと会合して詳細について議論する予定です。

国民意識を取り戻すために、私たちは、歴史をつなぎ合わせ、ロシアが1917年に始まったのでも、1991年に始まったのでもなく、私たちが千年余りに長期間に亘って共通の連続した歴史を有しているという簡単な真実を理解する必要があります。そして、私たち自身の力や私たちの国家の発展の目的を探すことにおいて、これを頼るべきでしょう。

今、ロシアの歴史の1年としての2012年の終わりが近づいています。しかし、国家の歴史に対する関心や、関連する教育的、科学的なプロジェクトは終わりません。私は、今までに何年も活動を行ってきたロシア歴史協会や、ロシア軍事歴史協会、ロシア地理協会の活動を信頼しています。わたしはまた、私たちの祖国やその家族のために英雄の名前を保存したり、戦争で亡くなった戦士の遺留品を埋葬したり、戦争の遺品を保存してきた搜索組織に対して感謝いたします。

搜索組織の参加者との会合において、祖国の歴史的な軍事遺産を保存することがどれほど大事であるかについて話し合いました。何はともあれ、私たちがいまだに第一次世界大戦の英雄たちのために国家的な記念物をも一つも作っていないということは許される事でしょうか。私たちの前任者たちはそれを「大戦」と呼びますが、不当に忘れ去られ、歴史的な記憶や、政治の歴史、イデオロギーの理由から削除されています。一方、私たちの軍のモラルは、伝統や、歴史へのつながり、私たちの英雄の勇敢さや自発性の見本によって支えられているのです。

私は、ソビエト時代やそれ以前の時代も含めて、非常に有名な連隊や、部隊、主力編隊の名前を復活させるべきだと思います。防衛大臣はこれについての提案を行うべきです。

私たちは祖先から伝えられてきた優れた経験を評価すべきです。ロシアは、当初から、何世紀にも亘り多民族の文明国家として発展してきました。ロシア国民、ロシア語、私たちに生来のロシア文化によって結び付けられ、多様な世界においても分裂を免れてきました。多民族性に関係なく、私たちは、未来永劫に一つの国民としてあり続けます。私は、ある、退役軍人たちとも会合を思い浮かべます。そこには、タタール人、ウクライナ人、グルジア人、もちろんロシア人など多様な人種の代表が参加していました。一人のロシア人でない退役軍人が、「全世界レベルでは、我々は一つの国民であり、ロシア国民である。」と言いましたが、それは戦時において真実であり、また、今でも真実です。

“私は、内閣府に対してロシアにおいて遠隔学習プログラムを実施するための提案を行うよう要請しました。これは独立国家共同体の若者や、世界中の愛国者に利用できるものであるべきです。私たちはロシアの質の高い教育を世界中で受けられるように努力すべきです。私たちは、世界的な、人道主義的、情動的、文化的空間におけるロシアのプレゼンスを高める方法を話し合うべきです。”

私たちは、全ての民族や、全ての連邦国を、高い敬意と気遣いを持って取り扱ってきましたし、これからもそれを続けます。私たちの多様性は、私たちの強さや長所の源泉であり、今後もそうあり続けます。

しかし、私たちは、いかなる国粋主義も愛国主義も、愛国主義者が守ると見せかけている利益を有する国民や民族グループに対して直接的で甚大な損害をもたらすことを忘れるべきではありません。様々な主張や信条の国粋主義者や愛国主義者によって行われる「単純で明快な」方法である全てのデモ行動には、ロシアにとって重大な危険性があるのです。彼らのスローガンがなんであるにせよ、彼らは国を社会的な衰退や崩壊に導くのです。私たちは、民族的な緊張や宗教的な不寛容を引き起こそうとする試みは、ロシアの統一に対する脅威であり、私たち全員に対する脅迫と考えるべきです。私たちは、非公式な管轄権を持ち、国の共通の法や文化の規律の外にあり、法律や規制を無視するような閉鎖的な民族的な民族団体がロシアに存在することを認めてはいけません。

私は、ロシア連邦の連邦国の首長や、政治家や、重要都市の市長に対して訴えました。これは、基本的には彼らの責任であります。彼らは日々、このために働き、その努力を効率的なものにしなければなりません。

ロシアには新たな活力が必要です。ロシアは、賢く、教養があり良く働く人々を必要としています。それは、お金を稼いだら国を出ていくような人ではなく、ロシアに移り、定住してこの国を自国と考える人です。しかしながら、現在の規制はこの目的に合致したものではありません。全く逆です。文化的、精神的にロシアに近い者であっても、同国人としての国籍を得る手続きは難しく、非常に官僚的です。同時に、非合理的なものも含めて、未熟練な労働力を輸入することはとても簡単です。

ロシアの愛国者や、ロシア語やロシア文化を身に着けた者、ロシア帝国やソビエト連邦に生まれた者の子孫、ロシアに定住を求める者、現在保持している国籍を捨てる者に対して、ロシアの国籍を与える手続きを開発してはいかがでしょうか。

同時に、私は、非合法的な移民や、規制されたルール違反に対してより厳しい処罰を行うべきであると思います。ロシアの国会に関連する修正案が出されており、議員にそれを通過させるように頼んでおります。

私は、別の提案も行いたいと思います。まだ、独立国家共同体の国民がロシアに入る際に彼らの自国のパスポートを利用できるようになっています。すでに十分な時間がたち、独立国家共同体の国民は身分がはっきりしています。外国人が自国のパスポートで入国できる間は、効率的な移民コントロールを行うことは困難です。遅くとも 2015 年以降には、ロシアの入国は、国際パスポートによってのみ可能とするべきです。

“民主主義は、選挙に参加する機会だけではなく、国家権力を監視し、国家の仕事の結果

を評価する事にあります。私たちは、直接民主主義や、自治の発展に対してより注意を払うべきです。”

私は、関連する省庁に対して、私たちの連邦の同僚と一緒にこの件について働くよう依頼しました。私たちは、だれに対しても問題を与えることを望んでいません。必要であれば、彼らに対して資金面や技術面も含めた援助やサポートを行うこともできます。これは、文章を示すという単純なことです。私たちは、近隣諸国や、世界の戦略的なパートナーの習慣を採り入れなければなりません。

同時に、「関税同盟」や、「共同経済圏」の国民に対しては、現在の規制が適用されます。彼らが、「関税同盟」や、「共同経済圏」の範囲内で国境を超える際には、簡素なルールが適用されるのです。

公的機関の役割は、移民政策においてとても重要です。これについては、自治体の権限を拡大して、法的、社会的、文化的に移民の適応を行うプログラムの実施に対して連邦政府の許可を与えることが正しいと思われます。これは多くの国において経験上効率的であることが認められています。

私は、内閣府に対してロシアにおいて遠隔学習プログラムを実施するための提案を行うよう要請しました。これは独立国家共同体の若者や、世界中の愛国者に利用できるものであるべきです。教師に対するサポートを行ったり、教科書や設備の援助を行うことにより、独立国家共同体や他の諸国でロシア語によって教育を行っている学校を支援することは重要です。私たちは、ロシア語の国際学校のコンペのシステムを創造すべきです。受賞者には、一流のロシアの大学への入学が許可されるべきです。

“政治的な競合は国家のために重要です。私たちは、公正な政治的競合が行われるように何らかの規約を確立することが必要です。”

皆さん、私は特にこの分野で働いている方に伝えたいのです。私たちは、質の高いロシアの教育を世界中で受けられるように努力すべきです。私たちは、世界的な、人道主義的、情動的、文化的空間におけるロシアのプレゼンスを高める方法を話し合うべきです。

皆さん、民主主義は、ロシアの唯一の政治的選択です。私は、世界中で採用されている普遍的な民主主義の原則を、私たちも共有すべきことを強調します。しかし、ロシアの民主主義とは、自分自身の伝統的な自治を持ったロシア国民の権限を意味し、外部から押し付けられた規範を達成する事ではありません。民主主義とは、法律や、規則、法令を順守

し違反しないことです。与党や政府や大統領は変わるかも知れませんが、国家や社会、国家発展の継続、独立性、国民の自由などの中心にあるものは、そのまま残さなければなりません。

民主主義は、選挙に参加する機会だけではなく、国家権力を監視し、国家の仕事の結果を評価する事にあります。私たちは、直接民主主義や、立法府による発案も含めた自治の発展に対してより注意を払うべきです。インターネットを通じたものも含めて、国民のサポートを得た発案については、連邦議会で検討されるべきです。

さらに、連邦評議会や国会の議員には、地域的な立法機関における立法発案の権利を付与されるべきです。これによって、私たちは、連邦の法律と地域の生活、そして各国会議員の関係を強めることができます。

政治的な競合は国家のために重要です。私たちは、公正な政治的な競合が行われるように何らかの規約を確立することが必要です。これについて、何点か述べさせていただきます。

最初に、ロシアの統一性や、保全性、独立性は、無条件です。分離主義や国粋主義についての示威行動は、いかなるものであっても政策的な議題から完全に排除されるべきです。

2番目に、私たちの国内の政治的処置に対する、直接的、間接的な外国からの干渉は、容認できません。海外の諸国の利益に役立つべく、政治的な活動のために外国から資金を受け取ったものは、ロシア連邦において政治家とは認められません。

“ロシアの統一性や、保全性、独立性は、無条件です。分離主義や国粋主義についての示威行動は、いかなるものであっても政策的な議題から完全に排除されるべきです。”

3番目に、政治の中は、犯罪者のための場所はありません。これはすべての政治勢力において基本的なことです。もちろん、犯罪者が政治に関与することは法律に反しているという人もいるでしょう。確かに法律に反していますが、彼らは、時には助力を得て、政治の場に入ってこようとします。これは起きてはならないことです。

4番目に、文明的な会話は、文明的な方法で要求を策定し、正当化し、要求し、また、法令順守によりその身を守る、政治勢力によってのみ行われるべきです。政治的なシステムの変動や近代化は自然であり必要なものですが、変化への渴望を充足するために国家を破

滅させることは許されません。ロシアの全ての歴史がそれを物語っています。

5 番目に、国家は、選挙期間中だけでなくいつでも、全ての政党に対して、メディアに対する平等なアクセスの権利を保障しなければなりません。しかし、これは簡単な仕事ではありません。今年の初めには政党は7つでしたが、今では48もあります。さらに200もの組織が自分自身の政党を作ろうとしています。一方で、政府は全ての政党が平等の権利を享受できるように努力しなければなりません。多くの政党や専門家は、並立方式の国会議員選挙に戻ることを提案しています¹。そこでは、比例代表制と、小選挙区制度が並立して行われていました。私もそれには賛成です。このシステムに戻しましょう。

選挙への参加における選挙連合(electoral bloc)の権利を残そうと話す人もいます。これについては、分けて考えましょう。これには詳細な話し合いや、熟慮、分析が必要です。私は、これが政治システムをより公正で開かれた競争力のあるものにし、政治における新しい指導者や政府に対する社会の要請や、優れた独立した国民という要請を満足させるものと思っています。

ロシアは、強い政府という伝統に特徴付けられます。従って、国民の権利や正義の保障、暴力や社会的不平等の減少、公共住宅や公共施設の立て直しなどの公共の要請は、政府に対して行われます。

“私たちは、確実に、国家の繁栄に対する脅威である政治的腐敗に対する戦いを続けていきます。ビジネスは、どのようなレベルでも、政府の行政、立法、司法組織に対する接近に基づいた特典を享受することは許されません。”

政府の非効率性と、腐敗は、だれもが理解している主要な課題です。私たちは、質の高い近代的な行政や、そこで働く人々の高いレベルの個人的な責任なしに、私たちの社会や国家が直面している問題に立ち向かうことはできません。以下の原則が新しい行政のモデルのための鍵となります。

最初に、全ての政府機構や政府の部署は、国民に対して、目に見える透明性のある理解可能な結果を目標としなければなりません。

2 番目に、コントロールに関して新たな形式や方法を大規模に導入しなければなりません。国民の意見が、公共サービスや公共施設を提供する行政の効率性を評価する主要な基準にならなければなりません。

¹ 現在はすべて比例代表制度で選出されている。

3番目に、地方政府の職員向けの効果的なインセンティブが必要です。それは、競争力のある給与、モラルのシステム、政府の仕事に対する継続的な向上を奨励する経済的、キャリア的なインセンティブなどです。同時に、個人の責任は、降格人事も含め、飛躍的に引き上げられなければなりません。これは、個人が怠慢について責任があると認められた場合には、免職されたり一定期間離職させられるということもあるということです。

“国家のモラルが備わった国家機関は、ロシアの発展の根本となる前提条件です。従って、全てのレベルの国家機関の一新や更新は、断固とした一貫性のあるものであるべきです。”

4番目に、私たちが公務員を非難する時に、様々な公共機関の職員の大部分はまじめで責任のあるものであることを心に留めておいて欲しいのです。これは、特にいくつもの法的倫理的な制限がある者にとっては義務であります。これを忘れてはいけません。公務員を選んだのであれば、これらの制限や、監査や、特別な要件を受け入れる用意が無ければなりません。これはほとんどの国でも同じことなのです。国家の利益を言う一方で自分のお金を国外に持ち出しているような公務員や政治家を、国民が信用すると思いますか。

私は皆さんに、海外の口座や、証券や、株式を保有することについて、公務員や政治家の権利を制限する法律に関する立案に賛成して頂きたいと思っています。この要件は、重要な決定を行う全ての職員、即ち国家や地方政府の首長、大統領府の上級職員、及び彼らの家族に対して適用されるべきです。連邦評議会や国会議員に対しても適用されるべきでしょう。

海外不動産の保有に関しては、法に基づいて公表されなければなりません。公務員はその価値とそれを取得した資金源を明らかにしなければなりません。

5番目に、取締の監督を行っている公務員に対しては特別な注意が必要です。いくつかの推定によれば、約百万人の人々がこの職務についていますが、これは、我が国では、医者や教師の数と同等なのです。

私は、政府の閣僚に対して、監督機関の主要な機能の改革について提案を行うよう求めました。監督は疑いもなく政府の重要な機能の一つです。しかし、監督機関の仕事ぶりの基準が結果に基づくものではなく、監査の回数によるのであれば、これは受け入れられません。

資金や人の調達において行われるように、監査機関による監査の結果について、公的報

告書を導入することは、不可欠です。それは、明確に個々の監査の費用や、それ自体の必要性まで明らかにします。

私たちは、確実に、国家の繁栄に対する脅威である政治的腐敗に対する戦いを続けていきます。私は、ビジネスは、どのようなレベルでも、政府の行政、立法、司法組織に対する接近に基づいた特典を享受することは許されないということを強調します。

“私たちは、ロシアの国家予算や社会分野が、他国の資金や商品のマーケットに人質を取られていると言う、現在の状況に満足することはできません。バランスの取れていない原材料経済の下では、人材の潜在能力を適切に使い、発展させることができません。私たちの国民の大部分に対して、彼らの強みや才能、労働、教育を用いる機会を与えることが困難となっています。これは、不平等を増殖させることを意味しているのです。”

この点に関して、最初に、収入や資産を監視することの他に、私たちは、公務員や、公共企業の役員や、その身近な親族の消費や金額の大きな買い物についても監視することとします。会計検査院は、今では、非法規的な増富の結果として得られた資産の没収を裁判所に申し立てる権利を保有しています。

2番目に、私は、政府の予算によって資金を付けられた機関の幹部に対する報酬は、その機関の業績やその労働者の平均給与を参考にして決められるべきであると思っています。私たちはこれについて何度も言っています。何年か前に私たちが新しい報酬の計算の原則を導入した際に、強制的な指針を含めるべきかあるいはガイドラインに留めるかということで議論がありました。いくつかのガイドラインが作られましたが、国営企業の中には、その幹部の給与が平均給与の何倍にもなるものがあります。これは誤りであり、何らかの改正が行われなければなりません。

3番目に、国の購入の入札は、汚職の「温床」となってきました。私は連邦の入札システムについての法律の可決を加速させるよう国会に依頼してきました。そして、政府や国営企業の購入と同様に予算の支出の効率性や有効性を監査することや、手続きや政府の要求の履行の結果に対して、公共の説明義務を根付かせることはとても重要なことです。

4番目に、会計審議会は重要な手段を持っています。私たちはこの機関に対して、より高い効率性と専門性を望んでいます。与党も野党も議長や副議長、監査官に対して候補者を推挙する権限を有するべきです。同時に、これらの職の特殊性を鑑みれば、彼らの任期は2期までとすべきでしょう。

5 番目に、汚職に対して効率的に対抗していくために、活発な市民活動や、効率的な国民による監視が、必要条件です。今日、地方政府のレベルでは、多くの市民が彼ら自身のイニシアティブで、公営住宅や公共施設の部門を含めて、公共支配のシステムを築きあげています。

メディアもこの面において非常に重要な役割を果たしています。メディアは、自由市場の環境下にあっても、彼らの情報の客観性を最も高い価格を示したものに売るといってはしません。彼らの努力は、最初に全体社会の利益や、高い道徳的指針の上に置かれているのです。

“国家経済主義よりも、経済的自由や、私的財産、競争、近代の市場経済が、新しい成長モデルの中心になります。”

国家のモラルが備わった国家機関は、ロシアの発展の根本となる前提条件です。従って、全てのレベルの国家機関の一扫や更新は、断固とした一貫性があるべきです。

私たちは、ロシアの国家予算や社会分野が、他国の資金や商品のマーケットに人質を取られていると言う、現在の状況に満足することはできません。バランスの取れていない原材料経済は、単に外部の衝撃に対して脆弱なだけではありません。より重要なことは、ここでは、人材の潜在能力を適切に用い、発展させることができないということです。私たちの国民の大部分に対して、彼らの強みや才能、労働、教育を用いる機会を与えることが困難となっています。これは、不平等を増殖させることを意味しているのです。さらに、ロシアの発展には今後の10年間に亘り少なくとも毎年5~6%のGDPの増加が必要ですが、原材料経済モデルの能力は消耗しきっています。

同時に、私は私たちの生活している世界のリアリティを充分わかっています。私は、経済開発省の分析や予測を熟知しています。とにかく、この高い目標を設定してその達成のために努力することが重要なのです。

経済構造の根本的な変革や、伝統的な産業分野における新たな産業の導入やリーダーシップの回復、中小企業のビジネスの発展などが主な目標となります。私は、国家経済主義よりも、経済的自由や、私的財産、競争、近代の市場経済が、新しい成長モデルの中心になると信じています。

起業家たちは、たびたび愛国心の不足を批判します。ロシア経済においてオフショアの投資や持株の比率が高いことは紛れもない事実です。専門家は、これは管轄裁判権からの

感覚的な現象であるとしています。ある評価によれば、国が出資しているものも含むロシアの主要企業によって行われた大きな取引の10分の9は、ロシア法によって管理されたものではないということです。私たちは、私たちの経済のオフショア化の流れを逆転させるために包括的なシステムを導入する必要があります。私は政府にこの件に関して総合的な提案を行うよう指導しています。

“ビジネスの愛国心を作るための最善の方法とは、私有財産の保護や契約順守について効果的な保証を行うことや、ロシアの司法権を魅力的なものにすることです。”

多くの諸国で、オフショア圏との話し合いや、コレスポンドンス契約の締結によって行われている、オフショアの透明性や、税に関する情報開示を行うために、私たちは努力しようとしています。にもかかわらず、管轄裁判所を選ぶ際に、海外の裁判所の方が好まれています。従って、私たちは、私たちの司法システムや、立法、法の実際の執行における不適切な要素を改善させなければなりません。これらを正直に認めることによるのみ、私たちはこの状況を根本的に変えることができます。私たちは、法の執行や裁判の実践において、求刑の偏向やビジネス犯罪があるという推測を否定し、私たちの司法制度を改善するための体系的な仕事を行わなければなりません。私たちは、経済的な紛争を、矮小化された刑事事件にすりかえ、スコアリングをまとめることに陥れるような法システムに存続する障害を排斥しなければなりません。

私は、国会議員や連邦評議会の議員の方々に、本件に秩序をもたらす修正案のパッケージに関する取組に関して感謝申し上げます。買収された政治家に対する懲罰が厳しくなる一方で、様々な経済犯罪で損害を受けた側から行われる申し立てが排除された刑事手続きを制定することは、許される事ではありません。

私たちは、できるだけ早く立法の法的な手続きを規制する特別法を起草するべきです。最高裁長官と私は、この点について詳細なことまで何度も話し合いました。私たちは、市民と国の機関の間の紛争の解決のために陪審員制度を必要とします。これはとても大事なことでありまだ解決されていません。多くの個人のために判例を集積することは、市民に追加的な防御策を与えることとなります。私は、民事訴訟法に関連する修正案を行うことをより迅速に行うことを求めます。

もう一つの重要な課題があります。最新の法制度、特に金融や会社の登記がこれにあたります。私は、関税同盟のために調停裁判所を創立するプロセスを推進するためにパートナーと協働することを提案します。これが金融やその他の紛争を検討する独立した代表的な機関になることを望みます。もちろん、これは新たな質のレベルでのロシアの調停手続

きの向上と分けて行うことはできません。

私は、ビジネスの愛国心を作るための最善の方法とは、私有財産の保護や契約順守について効果的な保証を行うことや、ロシアの司法権を魅力的なものにすることであると考えています。

“私たちはロシアの投資マップというものを作成する必要があります。これは、どの地域がより利益が見込まれ、働きやすくまた事業を開始しやすく、近い将来に地方政府からどのようなサポートを受けることができるのかについての明確な情報を、投資家に示すものです。”

地方政府は、地方政府の資産に民営化を推進する際に、ロシアの政治要綱を重視して、ロシアの法制度を用いるという良い実例を示す必要があります。政府が行おうとしている民営化は 1990 年代に行われた悪評の高いオークションとは全く異なるものです。今日の民営化は、公正な透明性のある、実勢価格での政府財産の売却であるべきです。

皆さん、民営化の品質とは政府の予算に入ってくる資金の流れだけを指すのではありません。それは、政府の行動に対する社会の信頼に拠るのです。それは、正当な尊敬に値する持ち主が出現することです。私は、民営化の手続きに携わっている全ての議員に対してこれを覚えていることを頼んでいます。

企業は、国家と同様に、それ自身の成功を達成するために働かなければなりません。そして、ロシアの初期の時代のように、才能豊かで感性を備えた組織者や、後援者、愛国者を育成するべきです。そうすることによって初めて起業家は、国民の広い尊敬を得ることができるでしょう。

私たちが実業界と一緒に国家の起業家政策を開始したことを思い出してください。専門家の評価に拠れば、ロシアがビジネス環境の良い 20 の国家にランクインすることは、GDP を少なくとも 2.5% 増加させ、天然資源産業を中心に、中小企業においてさらなる成長をもたらすとのことです。

経済の復活において最も重要な要素は、地方の行政機関によって行われる仕事の質による。私たちは石油も天然ガスもないのに年間 10% 以上の GDP を増やしている地域があることを知っています。これは、ロシアの GDP は、4% 以上増えないという人々に対する良い返事になります。頑張ればさらに 2~2.5% 増加させて、それを 5~6% にすることは難しくありません。

私たちは経済に資金を供給し、インフレを抑制し、競争力のある銀行レートを提示するために、長期で低金利の資金を必要としています。私は政府や中央銀行に対して、これらの課題に対応するためのメカニズムを考えることを依頼しています。私は、専門家たちが、これに反対し、長期の資金供給を行うのは中央銀行の役割ではなく、個人や企業の余剰資金や年金基金の資金によって供給されるべきであると思うだろうと思っています。それはわかっています。しかし、一方で、米国の連邦準備制度や、欧州中央銀行や、その他の国の中央銀行が、失業率や経済成長に責任を負うと明文で定められていることも知っています。

“21世紀において、ロシアの発展の方向性は、東方の開発にあります。シベリアや極東地域は、私たちの莫大な潜在力を象徴しています。そして、私たちは今、私たちの可能性を実現すべきです。私たちは、世界で最も活力に満ちた地域であるアジア太平洋地域に、資源に富んだ地域を保有しているという機会に恵まれているのです。”

私は今みなさんに、私たちが行った立法について見なおしてくださいと言っているわけではありません。私はただ皆さんに、私たちが国の発展に関する主要な課題を懸念しなければならないという事実気づいて欲しいのです。私たちの国の準備金は、国のために国内で用いられなければなりません。しかし現在、国家福祉基金は、国の発展のためには殆ど用いられていません。私たちは、準備基金が国の GDP の 7%を超えた際には、その余剰の半分を、ロシア経済、特にインフラ事業に用いることができるという取り決めを行いました。

最初に話しましたが、ここで既存の合意に対する修正について少し述べます。今年度の終わりには、準備基金や国家福祉基金は、国の GDP の 9%を超えます。これは、代わりに防衛のために少し余裕ができることを意味します。従って、2013年の最初に関係するマネジメント組織を設立した後に、国家福祉基金の一部、約 1,000 億ルーブル(約 33 億ドル)が、ロシアの防衛やインフラ事業の実施に使われることとなります。すでに政府の専門家はこれに同意しています。財務大臣に対して関連する計画を策定するよう依頼しています。そのような事業が自立することは大事です。私は、これらの事業が、いつも国家福祉基金やその他の国家予算から資金の注入を受けることなく、採算性があり確固とした保証された収入を生み出すことが重要だと考えています。

税システムも経済の立て直しのニーズに合致しなければいけません。私たちは投資や開発奨励し、税負担を、物品や高価な不動産を含む消費に移行させていかなければなりません。

実際、世界中の多くの諸国やロシアにおいて、私たちは何時もこの所得税と言う課題に戻ってきてしまいます。私はすでにこれについて話しましたので、私の意見は皆さんご存知だと思います。私たちはいわゆるフラットな税を維持しなければいけません。一見、累進課税は社会の公平性を推進するよう見えますが、実際にはそうではないのです。反対に、それは何百万人と言う平均的収入の市民に対する負担となるのです。そのような累進課税制度について試算してみれば、そのようになることが解ります。

さらに何が起きるでしょうか。納税回避です。予算や国庫は所得税がもたらすであろう資金が不足することに気づきます。これは、軍隊や、年金や、その他の公共部門の資金調達に資金不足をきたすことを意味します。従って、本件に関して私たちが行う行動は非常に注意深く行わなければなりません。これに関して、私たちができることもあります。豪華品や、顕示的消費に対して増税することです。

政府が、奢侈税に関する取り決めを 2013 年前半から実施しなければならないことを再認識してください。この税は、奢侈品や、どんなに厳しいと思われようとも、全ての高価な自動車や、全ての新車に対して課せられます。

質的な経済の復活には、公正な競争を必要とします。国の起業政策に関する努力の一環として、私は政府に対して競争を高めるためのロードマップを策定し、来年それを実施するよう指示しました。

私が何故これらが全ての重要な領域で行われなければならないと考えているのか少し話します。私は、どのような議論がなされたのかよく知っています。これは、たびたび起こる議論です。私たちは会議室で話し合い、そこを離れると忘れてしまいます。そして課題はお蔵入りになるのです。私たちには明確なガイドラインが必要です。私たちは、指示に従っていける、道をたどるための書類を必要とします。私は皆さんにこれを忘れずに行ってもらいたいと思います。

“ロシアは、今日世界が直面する課題への取り組みにおける首尾一貫した共通の努力を支持します。この立ち位置は、現代の現実と調和したものです。私たちは国家や地域を結びつけるプロジェクトを提案します。”

経済政策の中心部分は、ローンの利用可能性や税法上の優遇から、簡素な行政手続きや低いインフレ率に到るまで、ロシアでビジネスを行う面での全ての基本的な競争力にあります。これは、経済の復活や、一次産品への依存から脱却することに直接つながる方法で

す。なぜなら、何万と言う事業の採算が取れるようになるからです。事業には、原材料の精錬、工学、重・軽工業、サービス部門、中小企業のビジネス、そしてもちろん農業部門が含まれます。

農業について少し話します。世界中で、特に新興諸国で食料に対する需要が急増しています。ご存知のように、ロシアは、世界の耕作可能地の半分以上、55%を保有しています。今後4~5年間に於いて、私たちは全てのタイプの食料の生産における独立性を確保する必要があります。そして、ロシアは世界最大の食糧生産国となるでしょう。これは、私たちに新たな大きな可能性を開くことでしょう。

私たちの基準点は、発展のための高い環境水準にあります。

私たちは軍需産業の質を高め、科学や技術を発展させるために、軍事調達や軍需産業の近代化のためにかつてないほどの資金を費やすことを計画しています。ロシア経済のほとんどすべての部門は、関係する注文の実施によって、これらの資金の恩恵を被ることとなるでしょう。私たちは、宇宙や、原子力や、航空機や造船、計測器などの重要な部門における私たちの地位を高め、これらを、新しい技術に基づいた、新たな水準の新たな基盤の上に築かなければなりません。

私たちは、国営の電力産業の立て直しを行っていますが、それには活発な民間の資金を用いています。私は、投資環境の改善のためのロードマップのように、新産業の発展のためのロードマップを用意する必要があると信じています。新産業には、レアアース資源や、バイオテクノロジー、遺伝子工学、IT、新都市計画、工学、工業デザインなどが含まれます。

“ロシア経済は、迅速にそして質的に成長する能力を示してきました。私たちは、私たちの能力を維持し、あるいは強化することが可能であり、新たな水平線を築くことができます。”

2030年までのロシアの科学的、技術的発展についての長期予想が、最近まとめられました。そこでは、伝統的な部門の活性化と、新たなハイテク市場への参入の両方が強調されています。将来の防衛技術に関する有益な研究のための特別基金も設置される予定です。

地域の発展や、労働市場、社会の階級等の不均衡は、商品経済の直接的な帰結です。概して、適切な報酬の職を見つけることは、モスクワやサンクトペテルブルクや豊かな都市でしかできませんし、質の良い教育や医療は、いくつかの主要都市でしか享受できません。

そこは、人々が働き、勉強し、治療を受ける場所であり、若者が行きたがる場所です。そして、他の地域は、働いたり、役に立つことを望む活動的な市民を失っていくのです。私たちの世代の責務は、分散された開発や、経済成長や労働市場の新たな地理的分布、新たな産業、産業、科学、教育の新たな中心、全てのロシアの都市における、障がい者のためのバリアフリー環境を含む、近代的な社会環境、などに対して確固たる前進を行うことです。

現在、地域ごとの賃金格差は極めて大きいです。10 の地域がロシアの収入の半分以上を占めています。私たちは、すべてのロシアの地域が、例外なく経済的に自立し、連邦の過不足のない一部となるように働き続けなければなりません。従って、私たちは、州予算に関する現在の予算規則を、様々なレベルで少し変更しなければなりません。財務大臣はこのことを恐れてはいけません。

私たちは、地方の経済基盤を創造しそれを強化し、そこで働いている人々を助けるべきです。地方自治体レベルにおける私たちの優先的な施策は、現在特別な税体制の下で行われている、小規模企業から集められた税金の再分配です。さらに、私たちは、様々な形態の組織の資産や土地に対する税優遇を外そうとしています。これらの資金は地方政府の予算に流入されます。

一方で、私は、政府に対して、まず第一に、インフラ企業やインフラ独占企業に対する税優遇を撤廃することを申し入れています。これは、彼らがより多く支払わなければならないことを意味します。しかし、だれもが新しく増えた税金を払う準備ができていないわけではありません。なぜなら、これによって彼らの投資の能力を奪うことにもなりかねないからです。私たちは、円滑な移行期間や、これらの会社に対する補償について合意しています。私たちは、無条件にこれを考慮しなければなりません。このような決断は、偶然行われたものではなく、この方向に動かなければならないのです。

私は 2014 年から地方政府は、測量に基づいた不動産に対して課税を行う権利を保有すべきだと考えています。これが地方政府の税基盤を強めることでしょう。ただし、これは、地方政府自身の選択です。そして、これと並行して私たちは、資産評価とデータの検証に係る全ての作業を完了させなければなりません。

私は、教育も含めたロシアのバランスの取れた地方の発展に関するすべての面についての詳細を調査しなければならないことを強調します。私は、地方で、研究開発によって地方の有力企業に協力している大学を優先して援助するように改めたいと思います。すでに、研究を通して、これらの大学の卒業生たちは、彼らが生活し研究を行う場所に彼

らの将来を結びつけています。

私たちは、まさにこれらの大学のために、公共の資金を設けようとしています。政府は彼らの開発プログラムを援助すべきです。これと共に、企業も大学のマネジメントや資金について参加すべきです。これらによって、多くの資源がモスクワやサンクトペテルブルクの学生や、学習した分野で働くことすら考えていない学生の教育のために費やされている慣行を終わらせることとなるでしょう。

私たちはロシアの投資マップというものを作成する必要があります。これは、どの地域がより利益が見込まれ、働きやすくまた事業を開始しやすく、近い将来に地方政府からどのようなサポートを受けることができるのかについての明確な情報を、投資家に示すものです。私たちの競争力の有利性を用いることにより、私たちが最近自動車工業で行ったように、ロシアの他の地域から生産を移動させることを奨励すべきです。昨日、私は自動車業界の世界で最も大きな会社の CEO と会いました。

私たちは、目下、この方向に動いています。これは、ロシアの WTO 加盟によって、国内市場だけでなく輸出も狙って、ロシアに生産が移される機会が与えられたという事実によっても支持されています。21 世紀において、ロシアの発展の方向性は、東方の開発にあります。シベリアや極東地域は、私たちの莫大な潜在力を象徴しています。そして、私たちは今、私たちの可能性を実現すべきです。私たちは、世界で最も活力に満ちた地域であるアジア太平洋地域に、資源に富んだ地域を保有しているという機会に恵まれているのです。

最近、地方政府議会幹部会において、私たちは、トランスバイカル地域と極東地域の経済を活性化するための具体的で詳細な手段について話し合いました。私はここで合意に至ったすべてのことについて話すことはしません。私たちが合意したことの一つは、これらの地域に魅力ある生活環境を創造することです。2013 年の第 1 四半期の終わりまでに、起業に対する減税や、エネルギー開発計画、インフラ整備などを含む提案された施策を実現させていかなければなりません。これらは、絶対に行われなければなりません。私は皆さんにこの仕事に最大の注意を払って頂きたいのです。

さらに、私は政府に対して、経済特別地域の法律が 2016 年に失効することもあり、カーリニングラードの将来の発展のための提案を提示することを求めます。

私たちは、道路建設における本当の現状打破が必要です。今後 10 年間に私たちは道路建設の速度を少なくとも倍にしなければなりません。様々な試算がありますが、現在の数値を倍にしなければならないことは全く適確なことなのです。

私たちの最も重要な開発における優先事項は、地方空港や、海港、北極海路、バイカル・アムール海路、トランス・シベリア鉄道、その他の交通路です。これらについて構想しているだけでは不十分であり、これらに熱心に取り組まなければなりません。私たちは交通の完全な連結性によって、ロシアのすべての領土を確保しなければなりません。

今の時代の主な特徴とは、国際的な経済問題や政治問題を一人で解決できるものはいないということです。実際、これは、1990年においてもそうでした。ごく最近、わずか10年前においても、世界が1極化すると考えている人がいて、私の同僚にも私にそう言う人がいました。今ではそのように考える人はいません。

現代社会が多極化を高めている事は、だれにも明らかです。これは、リスクと機会の両方をもたらします。各プレーヤーが自分自身のゲームを行ったり、カオスを管理することは可能であるという幻想を捨てない場合に、リスクが広がります。一方、人々がそのようなカオスを広げることをやめれば、リスクは広がりにません。

ロシアは、今日世界が直面する課題への取り組みにおける首尾一貫した共通の努力を支持します。この立ち位置は、現代の現実と調和したものです。私たちは国家や地域を結びつけるプロジェクトを提案します。過去の20年間の経験や事実が、単純な常識と共に、全てをその正しい場所に置きます。北アメリカや南アメリカ、欧州、アジアで統合への関心が生じていることは自然なことです。そしてこれらのプロセスが勢いを増しています。私たちは、傍観者としてとどまるべきなのでしょうか。いや、逆に、私たちの近隣諸国と共に、私たちは、私たちのすべての利点を活用すべきです。

私たちの近隣諸国は統合プロセスに対して、より強い関心を示しています。一つの例が、近隣諸国の独立国家共同体の自由貿易圏に関する契約の作成や適用に対する非常に実務的、実用主義的な働きかけです。私は、この非常に重要な契約を最初に承認した国会議員の皆さんに感謝いたします。

身近な統合については、すでに効率的に機能している関税同盟や、ロシアとベラルーシ、カザフスタンの共通経済圏によって実証されています。私たちは、ユーラシア経済同盟の設立を開始しており、当然ながら、私たちは、これを継続し、その目的を遂行します。

私たちは、自分自身にGDPを倍増する目的を課し、2008年の終わりには、非常に近いところ、約80～85%まで達成することができました。私たちの勢いを弱めたのは世界経済危機だけでした。なおかつ、私たちが自分にそのような高いバーを設けたのには理由があ

ります。ロシア経済は、迅速にそして質的に成長する能力を示してきました。私たちは、私たちの能力を維持し、あるいは強化することが可能であり、新たな水平線を築くことができます。

私は何を申し上げたいのでしょうか。1999年を基準として、私たちの国民1人あたりのGDPは、ほとんど倍になりました。連邦単独や連結の予算は、何パーセントと言うレベルでなく、実に2.6倍まで増加しました。GDP対比の国の債務比率は、約10分の1になりました。GDPの100%以上から10何%まで下がりました。インフレ率は6分の1になりました。1999年には36.5%でしたが、2011年は6.1%でした。今年は、少し上がりますが7%より少なく、大体6.5%くらいです。

2000年までにロシアの人口は減少しました。ほとんど毎年百万人ずつ減りました。これは止められないように見えました。当時、人口動態予測が、国の最終的な判断のように思えました。

しかし、私たちはこの破壊的な傾向を反転させることができました。私が述べていたように、人口政策を開始することによりロシアの人口は安定し、2010年には増加し始めました。これは、私たちの決定的な成果であります。私は、みなさんの関心をこれに向けたいのですが、「私たちがどれだけすぐれているか見てくれ。」とまでは申し上げません。私がこれを強調したいのは、国民が私たちを信頼し、それに基づいて計画範囲を変えたことを理解して頂きたいのです。国民は、安定が発展や生活水準の改善に不可欠であると信じています。こう申し上げるのも、私たちはそのような信頼を評価して、私たちの仕事の上でそれを考慮すべきだからです。

私が申し上げた全ての比率は、経済と社会の発展の両方における非常な変化の証拠となります。しかし、重要なことは、私たち、すなわち国家や社会や国民は、困難を克服し、重大な問題を解決することができることです。私たちが賞賛すべき方法でこの困難な旅程を成し遂げ、着実に私たちの目的を達成してきたことを記憶にとどめておくべきです。

私たちの前には多くの仕事がありますが、私たちが前進を望むのであればそのような仕事は常に必要とされるのです。そして、私たちは、各人の貢献を、明日でなく今日必要としています。

何故私はこれらの数値を引用したのでしょうか。我が国は、歴史的に将来の生活や子供たちの生活に関する関心が高いのです。もちろん、これはとても重要で崇高な課題や目的です。しかし、個人の豊かな生活はいつでも遅延し、後回しにされ、将来に先延ばしにさ

れます。そしてこれがロシアでは全ての世代においてほとんどいつでも事実なのです。私が数値を引用した理由について戻りますと、私たちの状況を抜本的に変える時が来たのです。私たちはこれに取り組んでおり、これを成し遂げることができます。私たちが、一貫性のある国家復興政策を継続し、私たちの発展を公共の創造性に満ちた仕事に役立て、尊厳を持って働き、努力を惜しまないのであれば、私たちの目的を達成し、私たちの目前にある全ての任務を成し遂げることができるのです。

ご清聴ありがとうございました。